

令和元年度学校評価実施計画

学校名	大分県立大分雄城台高等学校
-----	---------------

前年度評価結果の概要	<p>○文武両道に向けた取組の精選 ～「合理性」を意識した指導の推進 長期的な「到達目標」と日常的「授業目的」を意識した指導〔授業改善〕に努めることで、年間目標とした「リテラシー〔読解力〕の育成、根拠をふまえた論理的表現力の向上」について、一定の工夫・改善が図られた。 しかし、「授業満足度」と「授業理解度」には依然として差が見られるため、合理的視角に基づく原因分析と、具体的対応策の提示を急ぐ。また、主体的学習意欲を促す教師の「コーチング力」強化に配慮する。</p> <p>○自転車事故防止については、目標とした前年比3割減を実現できた(自損事故は除く)。 しかし、新入生の事故は依然として多く、とくに自損事故総数が大幅に増加しているため、交通安全体験学習等、安全教育指導の早期実施を徹底するとともに、生徒自身の手による安全啓発活動を強化する。</p> <p>○「安心・安全で学習環境の充実した学校作り」に努める。挨拶や清掃、自他を尊重する「寛容な心」の育成等、「人間力育成」の取組を継続・強化する。</p>
------------	--

学校教育目標	中期目標	重点目標
「誠実・自主・創造」の校訓のもと、社会において逞しく生き抜き、積極的に貢献できる生徒の育成を目指す。	<p>1 確かな学力の定着と3年間を見通した進路指導により、進路希望の達成を目指す。</p> <p>2 真剣な学習活動と活発な部活動を通して、「文武両道」を推進する。</p> <p>3 信頼関係に基づいた、手厚い生徒指導と積極的なキャリア教育により、心豊かで、尊敬される人材の育成を推進する。</p>	<p>1 学力向上と3年生全員の第1志望校の合格を目指す。</p> <p>2 「文武両道」の実現と規範意識の育成により人間力の向上を図る。</p> <p>3 PTA・同窓会との連携や積極的な情報発信により地域から信頼される学校の実現を目指す。</p>

PL:プロジェクトリーダー、SL:サブリーダー

重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	PL SL
1 学力向上と3年生全員の第1志望校の合格を目指す。	①5教科平均点偏差値48以上が80人以上 (3年11月模試時点)	学力の現状に係る合理的分析を踏まえた「長期・短期のPDCA」	○ 3年間を見通した「進路達成計画」〔目標〕と「取組」〔目的〕の明示・共有・修正 ～ 模試分析会(1・2年3回、3年4回)の合理的な運営と活用 → 大学入試改革を見据えた分析視角の共有、課題の収斂、結果を踏まえた改善 アドバンスクラス指導プログラムの改善 ～「つきたい力」を意識させる学習刺激	PL 文武両道推進部長 SL 進路指導課長 年次部主任
	②「毎日の授業内容が理解できている生徒」の割合～全体の80%以上 (12月授業アンケート)	生徒の学力向上に繋がる組織的な「授業改善」	○ 統一テーマに基づく「校内授業研究会」開催(6月・11月) ～ わかる〔分かる・解る・判る〕授業(授業アンケートの活用、7・12月) 生徒自らが「授業理解度」を判断できる客観的基準の検討・提示 シラバスの改善と活用の工夫、一読して分かる到達目標・学習目的 リテラシー能力の育成～図書館の活用、いつでも本にふれられる校内環境づくり	PL 指導教諭 SL 進路指導課長 教科主任 キャリア教育課長
	③自主学習時間〔1年生2時間、2年生3時間、3年生4時間以上〕の達成率80%以上 (11月時点)。	生徒の生活実態を踏まえた学習の「質と量」の改善 ～ 自学・自律姿勢の育成	○ 家庭学習時間調査(毎月)の活用、個に応じた合理的な指導法の検討と実践 ～ 担任・部活動顧問による「連絡協議会」(年3回)開催 習熟の程度に応じた課題(応用・基礎)の作成と、実施に関する教科間の調整	PL 文武両道推進部長 SL 進路指導課長 特活課長 年次部主任、教科主任
2 「文武両道」の実現と規範意識の育成により人間力の向上を図る。	①生徒の部活動への加入率85%以上	真の「文武両道」に向けた教職員の意識統一	○ HR担任と部活動顧問との定期的な情報交換 ～ 部活動生集会の開催(年間5回) 終礼時間及び絶対下校時間の厳守 適切な休養日の設定	PL 文武両道推進部長 SL 特活課長、年次部主任
	②「あいさつの励行」・「清掃の徹底」に係る保護者評価85点以上 (12月保護者アンケート)	「雄城坂はあいさつの坂」運動の継続と清掃活動の徹底。	○ 「師弟同行」・・・教師と生徒が一緒に取り組む教育活動 ～ 校舎内や敷地内での「先のあいさつ」徹底 生徒会や教職員による生徒昇降口等での声かけ(毎日) 清掃活動の徹底	PL 人間力育成部長 SL 生徒指導課長
	③自転車事故発生総数(自損事故を除く) ～ 前年比70%以下 自損事故発生総数 ～ 前年比70%以下	自転車通学生の交通ルール・マナー向上 ～ 意識啓発、安全指導の早期実施と徹底。	○ 交通安全に係る「迅速」かつ「共感」を得られる指導～外部機関・保護者との連携強化 ～ 新入生への早期交通安全指導、方面別交通安全指導の実施 「体験学習」(自動車学校と連携)の早期実施、生徒による主体的な安全啓発 全教職員の指導、PTAとの連携 → 登校指導・駐輪場指導(毎月)	PL 人間力育成部長 SL 生徒指導課長
	④いじめ0、問題行動0等の安全な学校	「自ら考え行動する自立的精神」と「相手の気持ちを思いやる豊かな心」の育成。	○ 「自主・自律心」と「自他を尊重する姿勢」を促す教育環境 ～ 「OGIメモ」の活用促進 → 教師による活用機会・場面の設定(コンクール(年2回)を目指した日常指導の充実) 「いじめ発見のための先の先」の活用(保護者宛配布:学期末) 新生支援学校との生徒交流会の実施(年2回) 「学校の内外に相談相手がいる生徒」の割合90%以上	PL 人間力育成部長 SL 生徒指導課長 人権教育課長 保健・教育相談課長
3 PTA・同窓会との連携や積極的な情報発信により、「地域から信頼される学校」の実現を目指す。	①保護者アンケート(12月)の総合評価85点以上。	PTAとの連携強化。	○ 本校教育活動への理解と連携の強化 ～ PTA総会出席率(90%以上)、クリーンアップ雄城台の保護者出席数(200名以上) 職員とPTAによる登校中の交通安全指導(年6回)	PL 教育環境企画部長 人間力育成部長 SL 総務課長、生徒指導課長
	②同窓会との連携事業を年3回以上実施。	同窓会との連携強化。	○ 本校教育活動への理解と連携の強化 ～ 「職業人講話」(1年次生・7月)、「クリーンアップ雄城台」(8月) 「里帰り講演会」の実施(全校生徒・10月)	PL 人間力育成部長 SL キャリア教育課長
	③HPの積極的な更新、「広報紙」発行	情報発信の強化。	○ 地域から信頼される学校作り ～ HP(年間150回程度更新を目安)、広報紙「雄城坂」発行(毎月)、校外掲示板更新(毎月)	PL 教育環境企画部長 SL 図書・広報課長